



令和4年7月4日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel : 03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」 2022年度第2回公募における交流計画の採択について

JST（理事長 橋本 和仁）は国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）一般公募プログラムにおいて（参考）、2022年度第2回公募により採択する交流計画を決定しました。

2022年度第2回公募は、2022年3月1日（火）から5月16日（月）までの期間に合計124件の申請があり、国際青少年サイエンス交流事業選考委員会（委員長：三木 千壽 東京都市大学 学長）による審議を経て、さくら招へいプログラム78件（申請件数109件）、さくらオンラインプログラム14件（申請件数15件）の採択を決定しました（別紙1、2、3）。なお、アイルランド、ケニアおよびスロベニアから招へいする交流計画が初めて採択されました。

新型コロナウイルス感染拡大への対応として、さくら招へいプログラムにおける交流計画の実施にあたり、日本、送出し国、受入れ機関、送出し機関の出入国・行動制限などに関わる方針・規制などに適合しているかを受入れ機関が確認し、JSTが合意することとしています。また、年度内に招へいが実施できない場合には、代替としてのオンラインでの交流を実施することとしています。

「さくらサイエンスプログラム」のホームページには、関連情報や過去の活動報告も掲載しています。

URL <https://ssp.jst.go.jp/>

<添付資料>

- 別紙1：2022年度第2回公募採択結果 交流計画一覧
- 別紙2：2022年度第2回公募採択結果 国・地域／コース／属性別人数
- 別紙3：2022年度第2回公募採択結果 機関別 採択件数
- 参 考：2022年度 国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）一般公募プログラム概要

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 経営企画部 さくらサイエンスプログラム推進本部
〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3
石黒 傑（イシグロ スグル）
Tel : 03-5214-8997 Fax : 03-5214-8445
E-mail : [ssp.press\[at\]jst.go.jp](mailto:ssp.press@jst.go.jp)

No.	コース	受入れ機関名	送出国・地域名	送出国機関名・属性別人数	交流計画のテーマ
28	C (科学技術研修)	静岡大学	インドネシア：4人 マレーシア：2人 スロベニア：2人 タイ：2人 ベトナム：2人	[ガジャマダ大学] 大学院生：1人 [ポゴール農科大学] 大学院生：1人 [アンダラス大学] 大学院生：1人 [バンドン工科大学] 大学院生：1人 [マレーシアアボトラ大学] 大学院生：2人 [リュブリャナ大学] 大学院生：1人、教員：1人 [カセサート大学] 大学院生：2人 [ベトナム林業大学] 大学院生：2人	気候変動下での山岳生態系の管理技術 富士・南アルプス山岳地域の多様な植生・地学的環境における野外セミナー
29	A (科学技術体験)	静岡大学	中国：14人	[合肥工業大学] 大学院生：6人、教員：1人 [武漢理工科大学] 大学院生：6人、教員：1人	過酷環境に耐える材料開発と分析技術
30	C (科学技術研修)	芝浦工業大学	ベトナム：13人	[ハノイ工科大学] 大学生：6人、教員：1人 [ホーチミン市工科大学] 大学生：5人、教員：1人	ベトナム理工系トップ2大学合同の電力・パワエレシステムの構築・運用・実技ワークショップ
31	B (共同研究活動)	芝浦工業大学	台湾：11人	[国立台北科技大学] 大学生：4人、大学院生：6人、教員：1人	機械工学と屋内環境学の融合から模索する国際共同研究の創出
32	C (科学技術研修)	芝浦工業大学	インド：16人 マレーシア：12人	[インド情報・設計・生産技術大学カンチープラム校] 研究者：6人 [インド工科大学マドラス校] 大学院生：9人、教員：1人 [マレーシア大学トレンガヌ校] 大学院生：4人、教員：1人 [マレーシアアボトラ大学] 大学院生：6人、教員：1人	材料工学における環境・エネルギー分野の知識およびその実践的な活用技術・能力を習得するワークショップ
33	C (科学技術研修)	島根大学	バングラデシュ：6人	[バングラデシュ国立農業研究所] 研究者：6人	バングラデシュ若手研究者向け養液栽培研修2022
34	A (科学技術体験)	島根大学	韓国：11人	[釜山大学校] 大学生：3人、大学院生：7人、教員：1人	韓国釜山大学校と島根大学の学生による、金融業・製造業のビッグデータと数理科学および科学技術分野に関する研究交流および文化交流
35	B (共同研究活動)	信州大学	アイルランド：1人	[ゴールウェイダンスプロジェクト] 研究者：1人	コンテンポラリーダンスのローカリティ、民族舞踊から現代における芸術身体表現への変遷
36	A (科学技術体験)	千葉大学	カンボジア：1人 インドネシア：6人 フィリピン：1人 台湾：1人 タイ：8人 ベトナム：1人	[カンボジア王立プノンベン大学] 大学院生：1人 [バンドン工科大学] 大学院生：1人 [ウダヤナ大学] 大学院生：1人 [ポゴール農科大学] 大学院生：1人 [インドネシア教育大学] 大学院生：1人、教員：1人 [ガジャマダ大学] 大学院生：1人 [サンカルロス大学] 大学院生：1人 [国立台湾師範大学] 大学院生：1人 [シラバコン大学] 大学院生：1人 [チェンマイ大学] 大学院生：1人、教員：1人 [モンクット王工科大学トンプリー校] 大学院生：1人 [マヒドン大学] 大学院生：1人 [カセサート大学] 大学院生：1人 [チュラロンコン大学] 大学院生：1人、教員：1人 [ベトナム国家大学ハノイ校] 大学院生：1人	日本の科学技術を核にSDGs解決を目指すグローバル協働ワークショップ
37	A (科学技術体験)	千葉大学	韓国：10人	[釜慶大学校] 大学生：7人、大学院生：3人	無線伝送技術と人工知能に関する最先端科学技術体験
38	B (共同研究活動)	筑波大学	ブラジル：3人	[サンタクルス病院] 研究者：3人	高齢者医療と世界のがん治療
39	B (共同研究活動)	筑波大学	ブラジル：1人 インドネシア：4人 台湾：1人 ベトナム：4人	[サンパウロ大学] 大学院生：1人 [バンドン工科大学] 大学生：1人 [バジャジャラン大学] 大学生：1人 [ガジャマダ大学] 大学生：1人 [インドネシア大学] 大学院生：1人 [国立成功大学] 大学院生：1人 [ベトナム国家大学ホーチミン市校自然科学大学] 大学生：1人 [ハノイ医科大学] 大学生：1人 [ホーチミン市医科薬科大学] 大学生：1人 [ベトナム国家大学ホーチミン市校国際大学] 大学生：1人 [FPPT大学] 大学院生：1人	サマリーサープログラムPlus in 筑波大学2022 ～オミクス解析を駆使した国際共同研究の促進と次世代人材の育成～
40	A (科学技術体験)	電気通信大学	インドネシア：3人 マレーシア：3人 タイ：6人 ベトナム：6人	[バンドン工科大学] 大学院生：1人、教員：1人 [セベラスマレット大学] 大学院生：1人 [マレーシアアボトラ大学] 大学院生：1人 [マルチメディア大学] 大学生：1人、教員：1人 [モンクット王工科大学北バンコク校] 大学院生：1人 [タマサート大学] 大学院生：1人 [モンクット王工科大学トンプリー校] 大学生：1人、大学院生：1人 [モンクット王工科大学ラートクラバン校] 大学院生：1人、教員：1人 [ダナン工科大学] 大学生：1人、大学院生：1人 [レクイオン技術大学] 大学院生：1人 [ベトナム国家大学ハノイ校工科大学] 大学生：1人、大学院生：1人 [FPPT大学] 大学院生：1人	持続可能な国際社会の実現に向けた先端科学技術を学ぶ
41	B (共同研究活動)	東京大学	中国：1人 インド：1人 インドネシア：4人 韓国：1人 マレーシア：1人 台湾：1人	[中国科学院] 大学院生：1人 [インド工科大学カンパール校] 大学生：1人 [スラバヤ工科大学] 大学生：2人 [バンドン工科大学] 大学生：2人 [延世大学校] 大学院生：1人 [マレーシアサバ大学] 大学生：1人 [国立台湾大学] 大学院生：1人	環太平洋の地震・津波・火山噴火頻発域における災害軽減を目指した共同研究
42	B (共同研究活動)	東京大学	インド：12人	[インド工科大学デリー校] 大学院生：1人、教員：1人 [インド工科大学マドラス校] 大学院生：2人、教員：1人 [インド工科大学ハイデラバード校] 大学生：5人 [インド工科大学カラグプール校] 大学院生：1人、教員：1人	日印を結ぶ次世代ICTを担う先端研究
43	A (科学技術体験)	東京都市大学	ベトナム：15人	[ホーチミン市建築大学] 大学生：6人、教員：1人、研究者：1人 [ホーチミン市工科大学] 大学生：6人、教員：1人	アーバンデジタルトランスフォーメーションと複合的都市開発・都市圏マネジメントの経験
44	A (科学技術体験)	東京都市大学	マレーシア：11人	[マレーシア工科大学] 大学生：10人、教員：1人	歴史景観都市における先端的な環境配慮型スマートシティデザイン技術の体験
45	A (科学技術体験)	東京都市大学	タイ：11人	[マヒドン大学] 大学生：10人、教員：1人	PBLを通じた両大学の学生の共同作業による課題解決
46	A (科学技術体験)	東京都市大学	マレーシア：11人	[マレーシア日本国際工科院] 大学生：10人、教員：1人	両校の教育交流の促進を目指して
47	A (科学技術体験)	東京都市大学	タイ：11人	[タマサート大学] 大学生：9人、大学院生：1人、教員：1人	情報処理・通信分野および都市工学分野の最新研究に触れるPBLを通じた交流と成果のオンライン発信による友好関係の強化
48	A (科学技術体験)	東京都市大学	オーストラリア：11人	[サザンクロス大学] 大学生：10人、教員：1人	環境サステナビリティに貢献する先端材料の十種体験を通じた国際的学生的交流
49	A (科学技術体験)	東京都市大学	ケニア：11人	[ジョモケニヤッタ農工大学] 大学生：10人、教員：1人	自律移動ロボット制御実験を通じた学生の交流
50	B (共同研究活動)	長岡技術科学大学	ベトナム：12人	[ハノイ工科大学] 大学生：2人、大学院生：1人、教員：1人 [ベトナム国立農業大学] 大学生：2人、大学院生：1人、教員：1人 [ダナン工科大学] 大学生：2人、大学院生：1人、教員：1人	生命と技術：SDG9で世界を牽引するハブ大学としての国際共同研究のマッチング

【さくらオンラインプログラム】

※新規参加機関名は赤字

No.	実施機関名	参加国・地域名	参加機関名・属性別人数	交流計画のテーマ
1	大阪工業大学	バングラデシュ：14人	[バングラデシュ繊維大学] 大学生：12人、教員：2人	異分野交流を基軸とした新素材イノベーションプログラム
2	神戸女子大学	インドネシア：54人	[ウダヤナ大学] 大学生：50人、教員：4人	ウエルネスツーリズムと生活の質
3	佐賀大学	インドネシア：2人 マレーシア：6人 タイ：2人	[ダルマプルサダ大学] 大学院生：2人 [マレーシア工科大学] 大学院生：2人、教員：2人、研究者：2人 [モンクット王工科大学トンブリー校] 大学院生：2人	若手研究者のための海洋エネルギーに関する国際プラットフォーム人材育成事業
4	静岡大学	マレーシア：14人	[マレーシア工科大学] 大学院生：10人、教員：4人	国際共同研究創出に向けた国際的頭脳循環交流
5	東京都市大学	中国：12人	[大連交通大学] 大学生：10人、教員：2人	教員・大学院生との討論を通じ、課題発見能力を養成する
6	東京都市大学	中国：11人	[廈門理工学院] 大学生：7人、大学院生：3人、教員：1人	最先端電子情報通信技術のオンライン実習体験を通じた国際的学術交流
7	東京理科大学	中国：15人	[曲阜師範大学] 大学生：5人、大学院生：10人	アクティブラーニングを取り入れた日本型理科教員養成の方法論
8	東北工業大学	シンガポール：4人 台湾：11人	[ニューカッスル大学シンガポール校] 大学院生：3人、教員：1人 [淡江大学] 大学生：5人、大学院生：5人、教員：1人	IoT技術およびその応用技術に関する交流
9	山形大学	ペルー：22人	[工業科学大学] 大学生：10人、教員：1人 [ラモリナ農業大学] 大学生：10人、教員：1人	気候変動に関する、キクイ虫がオオシラビソの健康に及ぼす影響をドローンの画像で評価
10	横浜市立大学	インドネシア：35人	[ハサスディン大学] 大学生：30人、教員：5人	高齢社会における筋骨格系疾患（ロコモティブシンドローム）予防への保健活動
11	鈴鹿工業高等専門学校	フィンランド：23人	[トゥルク応用科学大学] 大学生：20人、教員：2人、その他：1人	社会実装に向けた先端技術と工学ウェビナー
12	一般財団法人リモート・センシング技術センター	ブルネイ：1人 カンボジア：2人 インドネシア：2人 ラオス：2人 マレーシア：1人 ミャンマー：1人 フィリピン：1人 シンガポール：1人 タイ：2人 ベトナム：2人	[ブルネイ次資源・観光省] その他：1人 [カンボジア農林水産省] その他：2人 [インドネシア農業省] その他：2人 [ラオス農林省] その他：2人 [マレーシア農業・食品産業省] その他：1人 [ミャンマー農業・畜産・漁業省] その他：1人 [フィリピン統計局] その他：1人 [シンガポール食品庁] その他：1人 [タイ農業協同組合省] その他：2人 [ベトナム農業・農村開発省] その他：2人	農業および食糧安全保障分野における課題解決のためのリモートセンシング利用技術研修
13	熊本県水俣市	ベトナム：15人	[ベトナム国家大学ハノイ校日越大学] 大学生：15人	水俣の教訓と地域の現状および課題を理解し、持続可能な社会発展を考える
14	熊本県水俣市	台湾：8人 タイ：8人	[国立台北科技大学] 大学生：8人 [カセサート大学] 大学生：8人	水俣病を正しく理解し、環境問題について考える

合計14件 実施機関：12機関（15カ国・地域）

新規国・地域：アイルランド、ケニア、スロベニア

【さくら招へいプログラム】

(単位：人)

国・地域	コース・属性	コース			招へい者属性							合計
		A. 科学技術体験	B. 共同研究活動	C. 科学技術研修	高校生	大学生	大学院生	ポスドク	教員	研究者	その他	
東南アジア	インドネシア共和国	75	21	46	8	77	34	4	18		1	142
	カンボジア王国	3	11	3		15	1		1			17
	シンガポール共和国	11			4				2		5	11
	タイ王国	119		2	30	47	31		12		1	121
	フィリピン共和国	7				5	1		1			7
	ブルネイ・ダルサラーム国	1				1						1
	ベトナム社会主義共和国	95	20	20	21	55	14		27	13	5	135
	マレーシア	71	1	18		51	30		9			90
	ラオス人民民主共和国	4				1	2		1			4
南西アジア	インド共和国	43	16	27		24	38		12	12		86
	スリランカ民主社会主義共和国	2		9		6	4		1			11
	バングラデシュ人民共和国			6						6		6
東アジア	大韓民国	26	3			15	13		1			29
	台湾	35	13	5	14	19	14		6			53
	中華人民共和国	55	1	3		36	16		6		1	59
	モンゴル国	2	5	8		4	1			10		15
アフリカ	エジプト・アラブ共和国	5				2	2		1			5
	ケニア共和国	11				10			1			11
欧州	ウズベキスタン共和国			3		3						3
	スロベニア共和国			2			1		1			2
	ドイツ連邦共和国	22				15			2	5		22
	アイルランド		1							1		1
大洋州	オーストラリア連邦	3					2	1				3
中南米	ブラジル連邦共和国	2	4			2	1			3		6
北米	アメリカ合衆国	11		2	11				2			13
合計		614	96	157	88	400	205	5	106	50	13	867

【さくらオンラインプログラム】

(単位：人)

国・地域	属性	参加者属性					合計
		大学生	大学院生	教員	研究者	その他	
東南アジア	インドネシア共和国	80	2	9		2	93
	カンボジア王国					2	2
	シンガポール共和国		3	1		1	5
	タイ王国	8	2			2	12
	フィリピン共和国					1	1
	ブルネイ・ダルサラーム国					1	1
	ベトナム社会主義共和国	15				2	17
	マレーシア		12	6	2	1	21
	ミャンマー連邦共和国					1	1
	ラオス人民民主共和国					2	2
南西アジア	バングラデシュ人民共和国	12		2			14
東アジア	台湾	13	5	1			19
	中華人民共和国	22	13	3			38
欧州	フィンランド共和国	20		2		1	23
中南米	ペルー共和国	20		2			22
合計		190	37	26	2	16	271

2022年度第2回公募採択結果 機関別 採択件数

別紙3

【さくら招へいプログラム】

大学 (単位:件)

No.	受入れ機関名	採択数
1	愛媛大学	1
2	大阪大学	1
3	岡山大学	2
4	香川大学	1
5	鹿児島大学	2
6	金沢大学	2
7	九州工業大学	2
8	九州大学	1
9	群馬大学	1
10	神戸大学	1
11	佐賀大学	1
12	静岡大学	2
13	島根大学	2
14	信州大学	1
15	千葉大学	2
16	筑波大学	2
17	電気通信大学	1
18	東京大学	2
19	長岡技術科学大学	1
20	名古屋大学	2
21	広島大学	3
22	福井大学	4
23	北陸先端科学技術大学院大学	1
24	宮崎大学	1
25	山口大学	1
26	茨城県立医療大学	1
27	大阪公立大学	1
28	岡山県立大学	1
29	名古屋市立大学	1
30	朝日大学	2
31	桜美林大学	4
32	金沢工業大学	1
33	関西学院大学	2
34	芝浦工業大学	3

大学

No.	受入れ機関名	採択数
35	東京都市大学	7
36	福岡大学	1
37	福山大学	1
38	立命館大学	1
39	早稲田大学	1
	計	67

高専

No.	受入れ機関名	採択数
1	広島商船高等専門学校	1
2	宇部工業高等専門学校	1
	計	2

高校

No.	受入れ機関名	採択数
1	大阪府立千里高等学校	1
2	宮城県古川黎明中学校・高等学校	1
3	宮崎県立延岡高等学校	1
4	宮崎県立宮崎大宮高等学校	1
	計	4

法人

No.	受入れ機関名	採択数
1	公益財団法人日本ユースリーダー協会	1
2	国立研究開発法人産業技術総合研究所	1
3	国立研究開発法人理化学研究所	1
4	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構	1
	計	4

自治体

No.	受入れ機関名	採択数
1	静岡県	1
	計	1

採択機関数：50機関

採択件数：78件

2022年度第2回公募採択結果 機関別 採択件数
【さくらオンラインプログラム】

別紙3

大学 (単位：件)

No.	実施機関名	採択数
1	佐賀大学	1
2	静岡大学	1
3	山形大学	1
4	横浜市立大学	1
5	大阪工業大学	1
6	神戸女子大学	1
7	東京都市大学	2
8	東京理科大学	1
9	東北工業大学	1
	計	10

高専

No.	実施機関名	採択数
1	鈴鹿工業高等専門学校	1
	計	1

法人

No.	実施機関名	採択数
1	一般財団法人リモート・センシング技術センター	1
	計	1

自治体

No.	実施機関名	採択数
1	熊本県水俣市	2
	計	2

採択機関数：12機関

採択件数：14件

2022年度 国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム） 一般公募プログラム 概要

1. 事業の目的

「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」は、産学官の緊密な連携により、日本の青少年と海外の国・地域の青少年との科学技術分野の交流を通して、

- ①科学技術イノベーションに貢献しうる優秀な人材の養成・確保
- ②国際的頭脳循環の促進
- ③日本と海外の教育研究機関間の継続的連携・協力・交流
- ④科学技術外交にも資する日本と海外の国・地域との友好関係の強化

に貢献し、ひいては、日本および世界の科学技術・イノベーションの発展に寄与することを目的とします。

2. 対象とする国・地域

原則としてすべての国・地域を対象とします。

3. 対象とする分野・テーマ

科学技術（自然科学、人文科学および社会科学）分野の交流全体を対象とします。

4. 一般公募プログラム

【さくら招へいプログラム】

交流計画の目的や内容に応じて、科学技術体験コース（Aコース）、共同研究活動コース（Bコース）、科学技術研修コース（Cコース）から選択します。招へい前・後にオンライン交流を付加した実施を推奨します。招へいの実施が困難となった場合には、オンライン交流をその代替とすることを採択の要件とします。

（1）科学技術体験コース（Aコース）

日本の先端的な科学技術に触れる機会と日本の研究者・学生などとの交流体験を通して、科学技術分野における継続的な交流を促進するものです。

- ・滞在期間：原則として上限7日間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：単一機関から招へいする場合は、10人を限度とし、複数の機関から招へいする場合は15人を限度（ただし、1機関からの招へいが10人を超えないこと）とします。

（2）共同研究活動コース（Bコース）

国際共同研究のテーマもしくは計画の策定、予備的な実験などの共同研究を開始する活動、あるいは具体的な共同研究に参加させる活動を対象とします。

- ・滞在期間：原則として上限3週間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：原則として10人を限度とします。

(3) 科学技術研修コース (Cコース)

送出し国・地域のニーズあるいは地球規模課題の解決に資する科学技術に関する具体的な技術・能力の習得機会を提供する活動を対象とします。

- ・滞在期間：原則として上限10日間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：原則として25人を限度とします（複数の国・地域から招へいする場合）。

※なお、1つの国・地域から招へいする場合の招へい人数は15人、1つの国・地域かつ1機関からの招へいの場合の招へい人数は10人を限度とします。

【さくらオンラインプログラム】

オンラインだからこそできるシリーズ的・継続的に実施する交流。日本の実施機関と海外の参加機関（相手機関の参加人数が10名以上）によるオンライン交流を計5日以上実施します。

5. 招へい者・参加者の要件

対象は、高校生、大学生、大学院生、ポスドクター、教員などです。招へいの場合には原則として日本に初めて滞在することになる40歳以下の方が対象となり、オンライン交流の場合には来日経験は問いません。

6. その他

さくらサイエンスプログラムについては、ウェブサイトやFacebook、YouTubeを通じて最新情報を発信しています。また、ウェブサイトに掲載の「活動レポート」については、過去に採択した交流計画に関し、受入れ機関や招へい国、招へい者所属機関の属性（大学・高校・高専など）、コース名を入力することで簡単に報告を検索できます。ぜひご覧ください。

- ・ウェブサイト：<https://ssp.jst.go.jp/index.html>
- ・Facebook：<https://www.facebook.com/sspjapan>
- ・YouTube：https://www.youtube.com/channel/UCTpHtASQ7JzM2Vh683D_uPQ/featured

以上